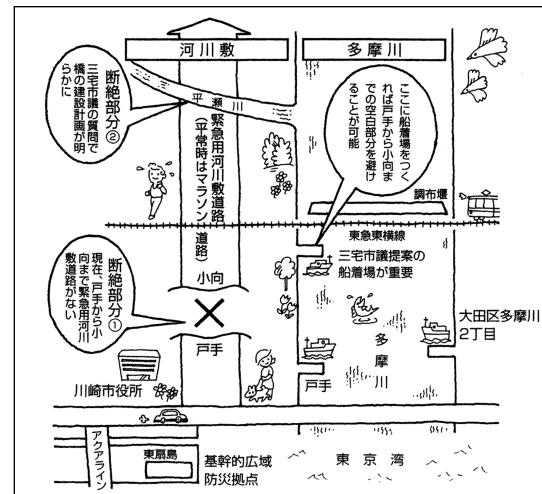


# 地形を生かした防災まちづくりを

## 多摩川は私たち市民の命を守る

**Q. 三宅隆介** 一般道路が寸断される緊急時には、舟運と緊急用河川敷道路の活用で物資の輸送を図る施策を考えていかがでしょうか？

**A. あべ市長** 緊急時において、多用な輸送手段の確保と整備は大変重要です。恒常的な船着場が難しい場合には、災害発生時に使用できる仮設の船着場の設置もひとつの方法として国、自衛隊と協議してまいります。



### 三宅隆介の視点

大田区は東京側の船着場なので、川崎側の船着場は戸手の1カ所だけ。はたして河川敷道路の空白部を一般道で補完できるのか疑問です。阪神淡路大震災では、国道はほとんど使えず、瀬戸内海からの物資輸送が復旧作業をより円滑化させました。川崎市は多摩川沿いに約40kmに市域がひろがり、その多摩川を瀬戸内海におきかえると、地形環境は神戸市に似ています。この河川空間を有益に活用することが重要です。一般道に依存することなく、河川敷にある緊急用河川敷道路と舟運によって、防災物資の輸送を完結できるようにしておく必要があります。

## 開かれた学校こそ安全だ

**Q. 三宅隆介** 学校施設のセキュリティ「強化」と、地域拠点化に向けた「開放」との間に対立する概念はありませんか？

**A. 教育長** 開かれた学校づくりのため、学校、家庭、地域社会が連携して子どもたちの安全確保に努めています。

### 三宅隆介の視点

学校における安全性確保には、“閉じる安全性”と“開く安全性”的ふたつの考え方があります。閉じることよりも、開くことによる安全性という観点と発想が、むしろセキュリティ強化につながります。

## イギリスも国語の授業を削ったことで社会が荒廃

**Q. 三宅隆介** 「ゆとり教育」の名のもとに国語をはじめ各教科の授業時間が削除されました。それに代わって総合的な学習の時間というわけのわからないものが登場しましたが、はやくも総合的な学習の見直しが呼ばれております。そこで一案ですが、総合的な学習の時間の中で時事問題を扱うことも可能ですか？

**A. 教育長** 例えば、環境では地球温暖化防止対策に取り組む事務所のワークショップ体験、ITでは機器の扱いだけでなく、情報モラルについてなど社会的な時事問題を素材にしています。

### 三宅隆介の視点

時事的な問題でいえば、例えば領土問題なども教えるべきです。竹島問題にしても尖閣諸島問題にしても東京都の沖ノ鳥島問題にても現行の社会科の教科書にはできません。国家を構成する主要な要素は国土であり、国民であり、主権であるということを、学校教育の中でもしっかりと教えていくことが重要です。